

第2回男女共同参画講演会

「60からが面白い」 ～妻と夫の定年塾～を開催しました！



11月27日、海老名市文化会館小ホールで男女共同参画講演会を開催し、多くの方に参加いただきました。講師は、定年後の男女のあり方をテーマに執筆活動しておられる作家、西田小夜子氏。60歳まではただの主婦でしたが、定年後の夫をモデルに小説を書きはじめから売れ出したと話す講師。意見交換も交え、笑い多い有意義な講演会となりました。

積極的その日暮らしは素敵

60歳から先はわからないのです。長期計画を立ててとか、充電してからと言っていると実現できないことがほとんど。自分がやりたいこと、あこがれていたことから先に手を付けましょう。3日間ぐらいの予定を立て、夜寝るときに思ったとおりにできたな、今日はいい一日であったなと感ずることができれば、それぐらいで幸せだと思います。積極的その日暮らしは、計画倒れよりもよいのです。

夫婦のほどよいすれ違い

一番うまくいく夫婦は、程よくすれ違っている夫婦です。お互い刺激し合っている夫婦。いつも一緒にいるからいいものではありません。それよりも、午前夫がスポーツセンター、午後妻が趣味クラブ、そして、夕飯のときに2人一緒にいると、それぞれ違う体験を話すことで会話が弾む。そのような夫婦の方がうまくいくのです。



東京新聞の
コラムニストで
もある講師
西田小夜子氏

「俺のめし」が作れる男に

妻の一番の不満は3度3度のご飯づくり。男性の皆さんも料理をしましょう。料理は段取りよく考えながら行うので、脳を活性化します。指先も動かすのでボケない。何より妻が大喜びするのです。

妻は夫の料理をほめて育てることを心がけましょう。そして、妻もいつまでも元気でいられるとは限らない。せめて俺のめしは自分で作れるようにしましょう。

この他に、時々老人をやっておとなしくする「精神的な隠居」、不用品を捨ててシンプルに生きる等、参考になる話がいっぱいでした。講師の著書は、市図書館で借りることができます。

男女共同参画推進事業所を紹介します

男女がともに活躍できる社会づくりが求められていますが、いまだに「男は仕事、女は家庭」という考えが根強く残っており、子育てはまだまだ女性に大きいのしかかかっています。そのため、第一子出産前後の女性の就業率をみると約7割の女性が仕事をやめてしまっているというデータもあります。

そのような中、市内河原口にある海老名総合病院には院内保育園が設置されていて、医師や看護師の仕事と家庭が両立しやすい労働環境が整備されています。このほど、市民から公募の男女共同参画推進員8名が同園を訪問し、運営の取組みについてお話を伺いました。



←熱心に説明を聞く推進員

海老名総合病院の院内保育「ひまわり保育園」

変則勤務でも安心して働ける



紙芝居に聞き入る園児たち、フロアは床暖で整備されており快適空間

海老名総合病院の院内保育「ひまわり保育園」は15年前に、民間の保育園では時間的に預けられないと言った看護師からの要望に応え、病院内の医師・看護師、助産師が安心して働けるようにと、病院が敷地内に福利厚生施設として設置したものです。

当初は園児4名からのスタートでしたが施設も徐々に充実され、現在では104名（学童保育5名を含む）と利用者が増えています。病院内の医師・看護師は約500名で、約20%の方が利用していることになります。

ひまわり保育園の大きな特徴は保育時間です。同園の通常保育時間（7時30分～18時30分）に加えて、医師や看護師の勤務状況に合わせた保育時間の対応をしています。急な残業時にも対応してくれるなど、看護師等は保育時間を気にせず働けます。また、夜勤や夜勤明けの24時間保育の対応、看護師さんのリフレッシュ休暇の時でも1日預かってくれる等、医師や看護師が働くうえで、子どもを安心して預けられるシステムになっています。料金は日額で延長料金もないとのことでした。

保育園での行事は、さまざまな保育時間に対応していて大変であるにも関わらず、発表会・遠足・かるた取りやお芋掘り等の季節に合った年間行事が組まれており、大変充実した内容でした。



ママ・パパの声を聞いてみました



◆敷地内にあるので、いざという時にはすぐ行けるという安心感があり
また、送迎に時間をとられず、時間を有効に使うことができます。



◆利用者も保育士も同じ病院の職員であるため、子供に何かあったときはまめに連絡をいただけるので安心ですし、信頼感があります。

◆勤務時間に合わせた保育をしてくれるので、保育時間を気にしてピリピリせずに働けます。また、夜勤対応の保育もあるので「子育て中だから」という制限がつきにくく、離職せず仕事を継続でき、キャリアを積み重ねていくことができます。



◆院内保育は仕事と家庭の両立が出来る、子育て中の親にはうれしい施設です。



◆子供の遊んでいる姿が時折病室の窓から見られるので嬉しいですし、自分も仕事へのモチベーションも上がります。がんばろうという気持ちになれるんです。

◆生後 3 カ月から子供を預けましたが、お昼休みを利用して母乳をあげることができて本当によかったです。敷地内に保育園があるからこそできたことだと思っています。

男女共同参画推進員の声



◇ 安心して子供を預けられるからこそ、親は仕事に集中できるし、子供にとっても親の居場所が分かるので安心していられる。院内保育園は双方にとってとてもよいものだと思います。これからは、市内事業所内に併設された保育園がもっとたくさんできると良いと思いました。

◇ 保育園の設立から 15 年。4名の園児から始まり、現在は 104 名と保育園が継続し拡大できているのは、病院の理解と職員の熱意の賜物と思います。

◇ 市内では、事業所に併設している保育園はまだまだ少ないという。事業所内保育園は親にとっても子どもにとってもメリットが大きい。国などの支援が受けられればもっと増えるのではないかと思います。 (訪問日/平成 23 年 1 月 17 日)



厚生労働省も事業所内保育施設を応援しています

事業所内に保育施設があることは、小さなお子さんを持つ従業員にとって、仕事と家庭の両立のための強い味方です。そこで厚生労働省では、一定の基準を満たす事業所内保育施設の設置・運営がしやすくなるよう、事業所内保育施設の設置費や運営費の一部を助成しています。詳しくは、厚生労働省のホームページ又は、神奈川労働局雇用均等室へお問い合わせください。

◎厚生労働省のホームページ→「行政分野ごとの情報」→「雇用均等・両立支援・パート労働」→「仕事と家庭の両立」内「事業主の方へ」→「事業主の方へ給付金のご案内」

◎神奈川労働局雇用均等室 電話 045-211-7380

坂本龍馬をとりまく女性たち

幕末・維新に生きた女性たちのメッセージ

龍馬の周りには、元気で個性的な女性が多く存在しました。日本初のハネムーンに出かけた妻のお龍さん。「男にできて女に出来ないことはない」と言った乙女姉さん。北辰一刀流道場主の娘佐那子さん。現代にも通じる彼女たちの魅力溢れる生き方を読み解きます。

☆日 時 平成23年2月19日(土) 10時~12時 ※9時半開場

☆場 所 海老名市役所7階 701会議室

☆講 師 伊東 秀征氏(松蔭大学講師)

☆定 員 50名(先着順) ※保育あり2歳以上就学前・要予約2月17日(木)締め切り

☆申込み 電話 235-4568・FAX233-9118・市HP・携帯電話(上記QRコード)



男女共同参画推進員を募集

☆市が実施する男女共同参画のイベント等に参加してみませんか☆

●主な活動は、街頭等でのPR活動、情報紙の作成、学習講座の企画・運営など

※月1回程度会合有

●応募資格は、市内在住・在勤の18歳以上の方

●任期は、平成23年4月から平成24年3月31日まで

●応募方法 市内公共施設等窓口にある応募用紙を広聴相談課へ提出、または、市HPからも応募できます。締切りは、平成23年3月18日(金)。お待ちしております。



PR活動
市民まっりの

一人で悩まないで

女性のための電話相談

ボランティア～そよ風～をご紹介します

海老名女性支援電話「そよ風」は、様々な問題を抱えながら今を生きる女性たちを応援、支援するために、2007年5月に活動をはじめました。相談は匿名、相談内容に関しては秘密厳守です。相談者の気持ちに寄り添い、受け入れ、決して否定はしません。相談者は誰でも、自身が解決し生きる力を持っています。安心して話すことにより、その力を自らが引き出すことにつながるものと信じています。

「そよ風」は、ボランティア活動のため、資金は会費や寄付のほかに最初の3年間は神奈川県社会福祉協議会のともしび助成金や、ゆめコープからの支援を受けました。2010年度は海老名市市民活動推進補助金を受けることができ、電話相談に加え、3回連続の聞くことの技術を学ぶ「傾聴講座」も開催しています。

不安や悩みを抱えてつらい時、ひとりで悩まないで

「そよ風」に電話してください。私たちは待っています。

046-235-7353 毎週土曜日 11:00 ~16:00

そよ風

